

オレンジ新聞



平成29年3月発行
発行元：茨木市

地域ぐるみで安心・声かけの きっかけづくりに 徘徊模擬訓練

茨木市地域包括 支援センター葦原

地域包括支援センター葦原では年3回、地域ケア会議を開催しています。地域ケア会議では参加者が意見交換を行いながら地域課題を抽出、4つのテーマに絞り、住みやすい街づくりを目指して小グループで話し合いを重ねています。テーマの一つである「見守り・地域ネットワークづくり」では今回、QRコードを利用した「茨木市認知症高齢者見守り事業」の説明と徘徊模擬訓練を行いました。

模擬訓練では3〜4人のグループ毎に分かれてQRコードの名札を付けて歩いている高齢者役を見つけ、高齢者役への声掛けやQRコード撮影しました。歩いている高齢



者役に声をかける言葉の選び方や携帯電話からQRコード撮影が思うようにいかず四苦八苦する場面もみられましたが、日ごろの経験を生かし試行錯誤をしながら訓練を行いました。

当日は民生委員、福祉委員、ケアマネジャー、民間配食事業所など日常的に見守り活動を行っている方、20名の参加をいただきました。ご参加いただいたみなさま、ご協力いただいた関係機関のみなさま、ありがとうございました。

茨木市地域包括 支援センター天兆園

平成28年12月12日に認知症高齢者徘徊模擬訓練(以下、模擬訓練)を実施しました。認知症徘徊者への捜索や声のかけ方を疑似体験できる模擬訓練は、担当圏域において初めての試みでしたが、民生児童委員長、地区福祉委員長、公民館長、弁護士、認知症地域支援推進員、医療福祉の専門職の総勢28名の参加となりました。

今回の模擬訓練では、捜索者役4〜5名を1グループとして、グループ代表者が実際に徘徊者役に声かけを行い、QRコードを読み取ります。捜索者役は、声のかけ方に戸惑ったり、捜索に時間がかかったり、その場で足をどのように止めていたかのかなど、



苦戦されたグループもありました。振り返りの場面では、捜索者役・徘徊者役の感想を共有後、声かけの「良い例」「悪い例」を学ぶことで、気付きが得られたようです。この訓練を通じ、これまでは他人事であった内容を少し身近に感じていただくきっかけになったのではないのでしょうか。

認知症
オレンジダイヤル
ココロ 晴れる
0120-556-806

受付時間 月～金曜日 午前9時～午後5時
(土日・祝日・年末年始12月29日～1月3日除く)
茨木市認知症地域支援推進員が対応しています。
通話・相談無料です。ぜひ、お気軽にご連絡下さい。



藍野大学短期大学部 学長 佐々木 恵雲

生と死を 見つめて —医師として 僧侶として—

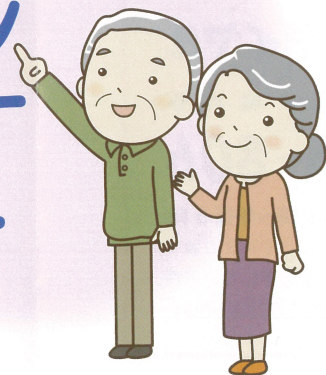
超高齢社会である日本はまさに多死社会を迎えようとしています。私たち一人ひとりが死としっかり向き合わなければいけない時代です。そのためにはまず自分にとって近しい人や愛する人の死、いわゆる「二人称の死」を経験し、その辛さや苦しみを実感することが大切です。

一般的には人の死は肉体(生物)の死と考えられています。しかし人は生物として独りだけで生きているのではなく、さまざまな関係(親子、夫婦、友人など)の中で生きています。肉体の死によって、いったんその関係が途絶えることになりませんが、二人称の死の場合、遺族はその関係が途絶したままでは耐えることができず、時間がかかっても必ず故人との新しい関係を築こうとします。



はつらつ長寿をめざして

平成28年11月26日(土) 市民公開講座



認知症ケアと地域連携



藍野病院老年心身医療センター副センター長 園田 薫

最近、テレビや新聞でも、2025年問題、地域包括ケア、認知症人口の増加などがトピックとなっています。1950年前後に生まれたいわゆる(団塊の世代)が2025年に75才以上の後期高齢者となります。後期高齢者になると、身体は様々な病気や認知症も増えるために要介護者も急増し、現在の医療、介護の受け皿では到底支えきれないことが分かっています。これは、世界共通の事象であり、全世界的に様々な取り組みが模索されています。これらは「地域包括ケア」と呼ばれています。

事業所など関係機関が連携して、要介護者、認知症の患者さんが安心して暮らせるような街作りのプランニングをしてきました。予防のためにはつらつバスポートみんなで元気編や、連携・情報共有のためのつらつバスポートみんなで連携編、かかりつけ医の診断のサポートのためのDMS・SWなどは既に稼働しており、今後は、更に先駆的にICTの導入も開始されています。

住み慣れた街で いつまでも自分らしく暮らすために

地域ですすめる介護予防



茨木市健康福祉部 高齢者支援課 参事 竹下 綾子

茨木市は、平成28年4月から「介護予防・日常生活支援総合事業」(以下、「総合事業」という。)をスタートさせました。総合事業とは、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるように、介護サービス事業者をはじめ、NPOやボランティア、地域のみなさんにも参加してもらい、地域全体で高齢者を支える取り組みです。総合事業には、「介護予防・生活支援サービス事業」と「一般介護予防事業」があります。

■内容:大きく2種類のサービスがあります。①訪問型サービス:自宅です生活を送るため、生活の維持・改善に必要な掃除や買物代行などの家事援助サービスを受けるものです。②通所型サービス:通所介護施設等で食事や入浴などのサービスを受けるものです。(利用料要)

■一般介護予防事業
■対象者:65歳以上のすべての人、およびその支援のための活動に関わる人
■内容:介護予防についての教室や講演会の開催(介護予防普及啓発事業)のほか、地域のみなさんの介護予防やいきがいつくり活動への支援(地域介護予防活動支援事業)などがあります。(教室等 部有料)

心身に不安がある人は介護予防のために、また、元気な人は支える側として積極的に総合事業を活用しましょう。

認知症地域支援推進委員のご紹介



茨木市認知症地域支援推進員 (社会福祉法人慶徳会 地域相談支援室) 寺川 真由子

平成28年10月より、介護系の認知症地域支援推進員として活動しています。介護系の推進員の役割は、大きく分けて2つあります。

1つ目は、相談支援と関係機関の連携推進です。認知症の人やその家族から相談を受けたり、必要な支援に結びつくために医療機関や介護サービス等の地域の支援機関との連携支援を行います。

2つ目は、対応力向上の推進です。誰もが安心して憩える場である「いはらきオレンジかふえマップ」の作成に取り組みんでいます。また、認知症の人の自宅まで行き声かけを行う「認とも」の養成講座を実施したり、徘徊模範訓練など地域力が向上するように、情報提供や協力を行います。

茨木市が掲げる「みんながやさしい街いはらき」のように、認知症になっても安心して暮らせる街づくりを推進していきます。地域の皆様のご意見をいただきながら、「一緒に」歩んでいきたいと思います。

茨木童子見守りシールを配付

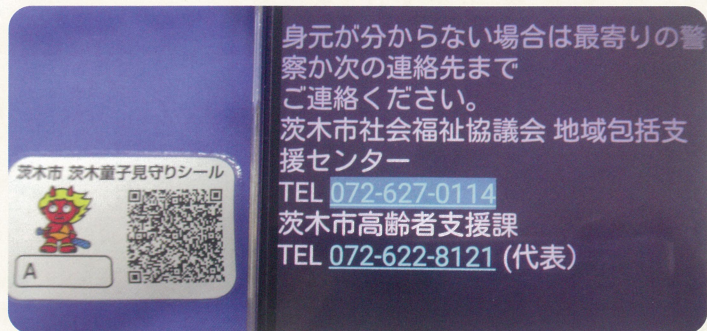
認知症の症状があっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症の高齢者及びその家族を支援するため、平成28年10月から茨木童子見守りシールを配付しています。

洋服や靴、かばんなど身の回りの物に貼り付けてもらうことで、行方不明となった時の早期発見及び事故の防止を図るとともに、保護された場合の素早い身元確認につながりたいと考えています。

シールは縦2・5センチ、横4センチで、市のキャラクターである「茨木童子」のイラストが描かれています。アイロンやドライヤーで生地

茨木童子見守りシール

QRコードを読み取ると、右側の内容が表示されます。



認知症
初期集中支援チーム専用
072-622-0655

受付時間 月～金曜日午前9時～午後5時
(土日祝日・年末年始12/29～1/3 除く)

茨木市役所高齢者支援課内

に貼り付けることができ、シールに印刷されているQRコードを読み取ると、最寄りの警察署が本人がお住まいの小学校区を担当する地域包括支援センター又は茨木市役所(高齢者支援課)に連絡いただくよう表示されます。連絡を受けた機関は、シールに記載された登録番号から高齢者の身元を特定し、家族などの緊急連絡先へ連絡します。

利用対象者(届出者)は、市内に在住するおおむね65歳以上で、徘徊の行動があり、行方不明になる心配のある在宅のかた(本人)及びその家族、法定後見人などです。

利用希望者は、本人がお住まいの小学校区を担当する地域包括支援センターに、利用登録届を提出してください。提出の際は、本人の写真、緊急連絡先、届出者の印鑑、身分証明書が必要です。問合せは高齢者支援課Tel620・1637へ。

茨木市地域包括支援センター

日常生活圏区分	センター名	所在地	電話	担当小学校区
北部地域圏域	茨木市社会福祉協議会 地域包括支援センター	駅前四丁目7番55号 福祉文化会館4階	627-0114	清溪、忍頂寺
中心地域中部圏域				中条、茨木、大池、中津
丘陵地域 東部圏域	茨木市地域包括支援センター 天兆園	安威二丁目10番11号	640-3960	安威、山手台 耳原、福井
丘陵地域 西部圏域	茨木市地域包括支援センター 常清の里	清水一丁目28番22号	641-3164	豊川、郡山、彩都西
中心地域 東部圏域	茨木市地域包括支援センター エルダー	庄二丁目7番38号	631-5200	三島、太田、庄栄 西河原、東、白川
中心地域 西部圏域	茨木市地域包括支援センター 春日丘荘	南春日丘七丁目11番48号	625-6575	郡、沢池、西、穂積 畑田、春日、春日丘
南部地域圏域	茨木市地域包括支援センター 葦原	真砂二丁目16番15号 ヌーヴェルハイム1階	636-8000	玉島、玉櫛、天王 東奈良、葦原、水尾